

Reiko Kanai
Piano Chamber Concert Series Vol. 6

金井玲子ピアノリサイタルシリーズ

ゴッホの世界 II ～室内楽作品を集めて～

Program

4つの素描より No.1, No.4(Vn.Pf.)

3つの小品より No.3(Vc.Pf.)

田園風間奏曲(Ob.Pf.)

2つの小品(Ob.Pf.)

幻想曲(Cl.Pf.)

ロマンティックな小品(Fl.Vc.Pf.)

夏の歌(《王女の庭》より)(Vo.Pf.)

異教徒の夜(Fl.Vo.Pf.)

タランテラ舞曲(Fl.Ob.Pf.)

古代のメダル(Fl.Vn.Pf.)

3つの水彩画(Fl.Vc.Pf.)



金井玲子
(ピアノ)



朴瑛実
(ヴァリン)



神谷未穂
(ヴァイオリン)



遠藤真理
(チェロ)



岩下智子
(フルート)



広田智之
(オーボエ)



三原秀実
(クラリネット)

2019年

6月14日(金)

19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティ リサイタルホール

京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ) 初台駅東口下車 徒歩5分以内(東京オペラシティビルに直結)

全席自由

一般 4,000円 学生 2,500円

チケット取り扱い

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード:142-214]

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

【後援】一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、一般社団法人日本フルート協会、日本オーボエ協会、一般社団法人日本クラリネット協会

【マネジメント・お問合せ】オーパス・ワン 042-313-3213 info@opus-one.jp



金井玲子(ピアノ) Reiko Kanai, piano

東京藝術大学附属音楽高等学校、及び同大学を経て同大学院修士課程修了。国際ロータリー財団奨学生としてミュンヘン国立音楽大学に留学、マイスタークラスを修了。第3回日本室内楽コンクール第1位、及び第17回ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクール第2位(デュオ部門最高位)。東京藝術大学音楽学部弦楽科伴奏助手及び室内楽科合奏助手を歴任。NHK-FM放送、室内楽、オーケストラとの共演等、様々な演奏活動を行っている。又、オホーツク音楽祭、アフィニス音楽祭、霧島音楽祭、飛騨高山音楽祭等の公式ピアニストとして参加、ピアノのみならずチェンバロでも各地で演奏している。2010年よりソロと室内楽によるリサイタルシリーズを展開。2012年よりArtis Piano Ensembleのメンバーとして日本とドイツにおいて2台8手連弾の演奏活動も行っている。浦和大学教授、東邦音楽大学・白百合女子大学講師。これまでにピアノを遠藤恵真子、故中山靖子、クラウス・シルデの各氏に、チェンバロを榎本宏子氏に師事。

朴 瑛実(ソプラノ) Terumi Boku, soprano

早稲田大学第一文学部卒業。東京藝術大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程、博士後期課程修了。第79回日本音楽コンクール声楽部門第1位、併せて岩谷賞、木下賞受賞。2013年度三菱地所賞受賞。これまでにJ.S.バッハによる教会カンタータや受難曲、ヘンデル《主は言われた》《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《合唱幻想曲》《第九交響曲》《ミサ・ソレムニス》、ハイドン《天地創造》《四季》、シューベルト《変イ長調ミサ》《変ホ長調ミサ》、メンデルスゾーン《聖パウロ》、ブラームス《ドイツレクイエム》、ヴェルディ《レクイエム》、ドヴォルジャーク《スターバト・マーテル》《レクイエム》、グノー《聖セシリアミサ》等のソプラノ独唱を務めた。声楽を佐々木正利、故 朝倉蒼生、佐竹由美、佐々木典子の各氏に師事。



神谷未穂(ヴァイオリン) Miho Kamiya, violin

桐朋女子高を経て、桐朋学園大、ハノーファー国立音大、同ソリストクラスを共に首席で卒業。パリ国立高等音楽院最高課程を修了。国内外のコンクールで多数入賞。ヘルシンキフィル、ブラハ室内管、京響、九響、仙台フィル、新日フィル、東響、東フィル等、国内外のオーケストラと共演。宮城県芸術選奨受賞。NHK-TV「もりすた!」にレギュラー出演。仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、千葉交響楽団特任コンサートマスター、横浜シフォニエッタコンサートマスター、従姉の磯絵里子とのヴァイオリンデュオ「デュオプリマ」、宮城学院女子大学特命教授、音楽の力による復興センター東北の理事として活動。地域創造「公共ホール音楽活性化事業」協力アーティストとして、地域に密着した音楽活動を展開している。CDはデュオプリマでコロムビア、ソニーから、ピアニストの望月優芽子との「ブーケ・ド・フランス」(NAT)をリリース。

遠藤真理(チェロ) Mari Endo, cello

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「ブラハの春」国際コンクールにて第3位(1位なし)、08年エンリコ・マイナルディ国際コンクールにて第2位。ゲルハルト・ボッセ、ジャン・ピエール・ヴァレーズ、ルドヴィーク・モルロー、山田和樹など国際的に活躍する指揮者と共演。またウィーン室内管、ブラハ響と共演するなど国内外で高い評価を得ている。現在ソリストとして活動すると共に読売日本交響楽団のソロ・チェロ奏者も務める。NHK大河ドラマ「龍馬伝」紀行(第3部)の音楽を担当、NHK-FMクラシック音楽番組「きらくら!」(毎週日曜日/全国放送)にてパーソナリティを務める。2018年7月読売日本交響楽団とドヴォルザーク:チェロ協奏曲のCDと4枚のアルバムがエイベックス・クラシックスよりリリースされている。

遠藤真理オフィシャル・ウェブサイト <http://endomari.com>



© Yusuke Matsuyama



岩下智子(フルート) Tomoko Iwashita, flute

東京芸術大学、同大学院修士課程を修了。在学中に東京文化会館主催新人推薦音楽会、日本演奏連盟新人演奏会に出演。1983年西日本新聞社賞受賞。1986年ドイツ学術交流会(DAAD) 給費留学生としてドイツ・デトモルト音楽大学に留学し、88年最優秀で修了。吉田雅夫、金昌国、H. P. シュミッツ、M. アヒレス、A. アドリヤンの各氏に師事。1988年第1回イタリア・トリエステ・デュイーノ国際コンクールにて第2位、イタリア国営放送に出演。ザルツブルグ音楽祭、イギリスのノリッジ音楽祭、またNHK-FM「午後のリサイタル」「土曜リサイタル」などに出演。室内楽奏者としても幅広く活躍し、日本全国、ヨーロッパ、アジア各地で演奏している。CD「フランスの香り」「ゴッホの世界」をリリース。またヘンデル「11のフルート・ソナタ集」、プロコフィエフ「フルート・ソナタ ニ長調 作品94」、ブーランク「フルート・ソナタ」(いずれも全音楽譜出版社)を編集して出版する。アジア・フルート連盟理事。武蔵野音楽大学講師。

広田智之(オーボエ) Tomoyuki Hirota, oboe

国立音楽大学在学中に、日本フィルハーモニー交響楽団に入団。日本フィルの首席オーボエ奏者、ソロ・オーボエを経て、現在東京都交響楽団の首席オーボエ奏者を務め、紀尾井ホール室内管弦楽団、オイロス・アンサンブルのメンバーとしても活躍し、リサイタルや室内楽でも精力的に活動を行う。これまでに、国内外のオーケストラ、室内楽団とコンチェルトを多数協演し、NHKの芸術劇場やFMリサイタルにも度々出演する。多忙なオーケストラ活動とともに、近年は映像音楽の分野でも目覚ましい活躍を続けており、クラシックにとどまらず、ポップス、ジャズなどのジャンルレスな活動が注目を集める。また、指揮者としてベトナム国立響をはじめ、全国のアマチュア・オーケストラに度々招かれ、新たな可能性を見いだしている。ソロCDは、これまでに多数発売されており、最新は2018年4月にオクタヴィア・レコードより「THE BEST」がリリースされた。

上野学園大学教授、桐朋学園大学特任教授。日本オーボエ協会常任理事。



三界秀実(クラリネット) Hidemi Mikai, clarinet

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、1989年同大学卒業。安宅賞を受ける。1991年東京芸術大学大学院を修了、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在東京都交響楽団首席奏者。東京芸術大学、及び桐朋学園大学非常勤講師を兼任。東京クライス・アンサンブルのメンバー、アール・レスピラン同人、オイロス・アンサンブル(木管合奏)、ザ・クラリネットアンサンブル等室内楽での活動も活発に行なう。2002年より宮崎国際音楽祭に、2006年より霧島国際音楽祭に参加。また日本音楽コンクールを始めとする数々のクラリネット部門のコンクール審査員も勤める。2013年にはCD「スパン・ポイント」をリリースし、レコード芸術誌において特選盤に選ばれる等、好評を博す。クラリネットを小島皓二、故大橋幸夫、村井祐児、鈴木良昭の各氏に、室内楽を山本正治、海鋒正毅の各氏にそれぞれ師事する。